

## 龍のまなび舎 No.6

須坂高校のまなびを紹介する不定期ニュースレター  
北信「五岳」にちなんだ、須坂の5つのゴガクを紹介します



### 井上地域公民館 通学合宿 特集

7月16日から4泊5日、高校生と小学生が共に生活する通学合宿が行われました。参加した小学生と高校生は、公民館で寝泊まりをし、ここから学校に通い、ここに帰ってくる生活でした。遊びも、食事も、自分たちで計画して実行した5日間。その様子と成長を高校生の言葉で紹介します。

#### この合宿に参加しようと思ったきっかけは？

小学校の先生や保育士になりたいと考えている。勉強だけではない年下の世代との関わりを持ちたいと思ったから。

医療系の進路を考えている。リハビリや治療を嫌がる人がいるという記事を読んで、そういう人にどう向き合うか知れるきっかけになると思った。

レッツトライプロジェクトで活動してきて、子どもと関わるのが単純に楽しかったから。

#### 合宿中うれしかったことは？

最後の解散式で、別れるのがさみしくて泣いている子がいた。来年も参加したいと言ってくれた子がいたこと。

参加していた大学生に「みんな意識が先生になってきたね」と言われたこと。自分たちも大人の視点を持てるようになってきたんだと思った。

今までは指示を待つだけだったけど、年上の人にも反対意見を言えるようになった。

#### この合宿で自分はどう変わった？ できるようになったことは？

子どもとの関わり方。最初は「〇〇して！」と指示をしていたが、それだと聞いてくれなかったり反発する子もいた。「〇〇してみたら？」「一緒にやろう」と投げ掛けることができるようになった。

「これ本当にいいのかな」とか、誰かと相談しないと自分の意見に自信が持てなかったけど、毎日ミーティングを重ねるうちに自分と同じ意見の人がたくさんいることに気づき、人に確認しなくても自分の意見を言えるようになった。

おとなしい子は指示を聞いてくれるので大丈夫だと思って目を離して、聞いてくれない子に集中してしまっていた。仲良くなったたら、大人しい子たちも自分に甘えてくれたのもっと早くにおとなしい子の気持ちに寄り添えればよかったと思った。

自分で抱えすぎず人に任せられるようになった。そうすると周りに目が行き、子どもの成長に気づきやすくなった。



いよいよ夏休み。2年生の探究も佳境です。通学合宿を参考に、フィールドワーク進めましょう！